

5月の予定		
1	日	
2	月	こどもの日祝い
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	久保先生のわらべうた
20	金	大型遊具塗装
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	梅もぎ(わくわく・いきいき) 内科健診
26	木	
27	金	梅ジュース作り
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

くらき永田保育園便り



先月のオンライン全体懇談会には想定した以上に大勢の保護者の皆さんに参加していただき本当にありがとうございました。初めての取り組みだったこともあり、ドキドキの連続でしたが、ウイズコロナ時代の新たな保護者の皆さんとの交流の可能性を感じることができました。また、全国には2万以上の保育園がありますが、毎年これだけ保育に興味関心をもってくれる家庭の多い保育園であることは園長の自慢でもあります。さらに、アンケートのご協力にも感謝しています。保護者の皆さんから保育に向けられた励ましやねぎらいの言葉の数々が職員の保育へのエネルギーに繋がっています。さて、懇談会でもお話ししましたが今年度は様々なモノや素材に出会ったり、触れ合ったりする中で「不思議」を感じ楽しむ一年となります。今月は、子どもたちの「ふしぎだな〜」センサーにスイッチが入る大切な月となります。子どもたちと一緒に「不思議保育園」をお楽しみください。

また、仕掛けの一つとして6月1日に小さな絵本屋さんクーベルチップさんのブックマルシェが行われます。魔女・魔法といったジャンルだけでなく初めての科学絵本などもたくさん取り揃えてくれるようです。子どもたちの「なんでだろう?」といった好奇心に火をつける機会としてご活用ください。

現況届提出のお願い

各家庭の保育要件を決定するために現況届により保育必要量を確認することになります。提出がない場合は保育の必要性が確認できず給付認定が取り消されることもありますので5月16日までに事務所まで提出をお願いします。ご不明な点がございましたら区役所、または事務所にご相談ください。

大型遊具塗装のお手伝い大募集です!!

懇談会の時にもお話ししましたが5月20日(金)午前中に園庭の遊具の塗装を行いますのでパパ・ママ問わず、最低10名のお手伝いの方を募集しています。園庭の遊具がきれいになることで子どもたちが遊具を使って遊ぼうという気持ちが高まるのはもちろんですが、楽しそうに大人がペンキを塗ったりする姿を子どもたちに見てもらうことこそ教育効果は高いと思っています。難しい技術などはいりませんので奮ってご参加ください。

日本版レミダを目指して!

世界で最も革新的な幼児教育として知られるイタリアのレジジョエミリアアプローチですが、そこでは、子どもの創造活動を支えるために使用用途が決められた「おもちゃ」とは別に自然物やガラス、プラスチック、布、ボタンなどなどの「素材」といわれるマテリアルがあらゆるところに配置されています。(その素材を保育園に供給する巨大倉庫をレミダと呼んでいます)企業の廃材利用という環境配慮のリサイクルの意味を超えて「身近にあるモノを違う視点から見る」機会を子どもたちに提供しているという側面があり、想像の選択肢を広げているのでしょう。その試みをくらき永田保育園でもやってみようと様々な企業や団体にも働きかけているところです。子どもの創造性を拡張するために面白い素材も大募集しています。

遊言育係より

・4月21日に『久保先生のわらべうた』がありました。子どもたちとのわらべうた研修だけではなく、午後には職員向けの研修として、わらべうたの音の高さや遊び方など基礎を教えてもらいました。『わらべうた』は同じ歌でも年齢によって遊び方が違い、乳児では触れ合い遊びの様に大人と子どものスキンシップの心地よさを楽しんでいます。友達との関りが増える異年齢クラスでは、子ども同士で役を交代しながら楽しむものや声当てなどのわらべうたが増えています。今後も職員間で遊び方を学び様々な楽しみ方を子どもに伝えていきたいと思っています。

・懇談会で募集した『卵の殻』ですが、皆様のご協力のおかげで続々と集まってきました。子ども達は色を塗ったり、潰して楽しんだりと様々な楽しみ方をしています。『自由に遊べる素材がある』というだけで、いきいきとした表情で素材に触れることができています。6月は『布』をテーマに子どもたちと楽しんでいこうと思っているので、家庭の中で使わなくなった布、端切れ、フェルトや綿など形や大きさは問わないので、ぜひ保育園に持ってきてくれると嬉しいです。

各クラスの様子をお伝えします！

にこにこ

ついに始まった保育園生活！お子さんよりもお父さんお母さんがドキドキそわそわ…だったのではないのでしょうか？子どもたちも大好きなお父さんやお母さんと離れての生活が始まり、沢山泣いたり、「あれ？なんだか面白そうなものがあるぞ？」と発見すると泣き止んで遊んでみたり…と少しずつ環境の変化にも適応しようとする姿がありました。徐々に好きな玩具を見つけたり、保育士に抱っこを求めたり、笑顔が日に日に増えてきています。保育士の私たちも眠いのかな？お腹空いたのかな？どんな遊びが好きかな？とまだまだ手探りですが、一人ひとりの発達の特性をつかみ、安心して過ごせる環境を考えています。子どもたちの姿を保護者の皆さんと共有することが楽しみです！1年間よろしくお願い致します。

よちよち

人見知りで泣いてしまう子もいましたが少しずつ保育士にも慣れて笑顔を見せてくれるようになりました。よちよち組になりお友だちに少しずつ興味が出てきた子どもたち。一緒にオーガンを振ってなんとなく一緒に歌ってみたりして楽しんでいます。室内では友だちがマットの上をハイハイで進むと真似をしてハイハイで進んだり、走る子がいると追いかけて走って身体を動かして楽しんでいます。またおやつ時間は、1つのテーブルに4人のお友だちで食べています。笑いあったり、おやつを見せ合ったり、同じテーブルで同じおやつを食べる時間が楽しいようです。これからよりお友だちとの関わりが増えていくよちよち組さん。どんな姿を見せてくれるか楽しみです。

すくすく

すくすく組になり、一か月がたちました。新しいクラスにも少しずつ慣れて、毎日いっぱい過ごしています。戸外では、数人で連なり「まてまて～」と追いかけてっこをしたり、草花集めや虫探し、土遊びを楽しむ姿が多いです。また遊具の一角では、お店屋さんごっこも人気で「いらっしゃいませ～」と大きな声でお客様を呼ぶなどしています。「くださいな」と声を掛けると、商品を取る真似をするなど、やりとりも楽しんでいます。お部屋の中では、少し難しいパズルにも挑戦しています。保育士に助けを求めて、一緒に完成させると「もう一回！」と繰り返して遊ぶ姿も多いです。これからも、子ども達の遊びがどんどん広がるように、職員も保護者の皆様と一緒に楽しんでいけたらと思っています。今年一年、どうぞ宜しくお願い致します。

給食室

新年度になって、一か月が経ちました。進級にともない、食事する場所や使う食器にも変化がありました。少しずつ慣れてくれているでしょう。

最近の異年齢さんは給食室に興味津々。お当番のときや、お昼を食べた後にカウンター越しに給食室をじっくり観察しています。

5月2日はこどもの日のお祝いです。毎年、保育園ではこの日のおやつは柏餅にしています。

こどもの日に柏餅を食べる文化は、江戸時代にできあがったと言われています。柏の葉は、冬に枯れても落ちずに新芽の芽吹く春まで残ります。そのことから柏の葉を巻いた柏餅は、子孫繁栄に縁起のよい食べ物として定着しました。

給食では、柏餅をはじめとしたその時々行事でしか味わえないものを、今後も取り入れていきます。一年間、どんな行事にどんなメニューが出るのか楽しみにして頂けると嬉しいです。

異年齢

今年度の異年齢クラスでは『素材と関わる』をテーマに、活動を進めていきます。4月は新聞紙をたくさん使って楽しんできました。新聞をたくさん千切って投げるだけでも大興奮！たくさん集めて「雪みたいだー！」とヒラヒラと舞い落ちてくる新聞をキャッチしたり体に浴びてみたり…それだけでもう楽しくて笑顔で溢れていました。他にも新聞を丸めて保育士と投げ合ったり、小さく丸めたものをたくさん集めてご飯のようにしたり、細長く千切って「こいのぼりみたい！」と吊るしてみたり楽しみ方は子どもそれぞれで見つけながら遊んでいる姿が見られました。他にも設定遊びの中では新聞紙で作るテントにも挑戦しました。細長く丸めたものを組み合わせて、入り口には細長くてひらひらした新聞紙を付けていました。みんなで完成させた新聞テントですが、残念ながら強度が足りずに完成2日目でぐしゃぐしゃに…。しかし、その失敗から子どもたちは「次は破れないやつにしようよ」と布などを組み合わせて作っていました。子どもたちの中でより良い素材を考えて選びながら遊びに活かしている瞬間でした。

このような活動の幅を広げていくためにも、懇談会で、お話ししたように、今月は『卵の殻』を募集します。

卵の殻でどんな遊び製作ができるか楽しみです。

また、園庭では、『泥遊び』が大人気です。大人にとっては躊躇ってしまうようなことでも、子どもたちにとっては、水も泥も玩具も全部が遊びの道具になっています。雨が降った後の園庭を見ると「早く外に行こうよ！」と待ちきれない様子の子も。わくわく組やいきいき組の子も裸足になって泥の感触をダイレクトに感じて楽しんでいます。

その様子をはじめは、不安そうに見ていた子どもたちも「やってみよう！」という気持ちが湧き出てきたようで一緒に裸足になって遊ぶ子どもがどんどん増えています。

のびのび組の子どもたちも泥でご飯を作っておままごとをしたり、カートをトラックに見立て土や泥を入れて運んで素材の感触を通して友達との遊びが広がっている姿が見られました。

今後はどのような遊びのブームがくるかはわかりませんが、大人も一緒になって楽しみたいと思っています。

*保護者の皆さまには、お子様の遊んだ靴のお洋服、靴などのお洗濯のご協力もお願いします。

